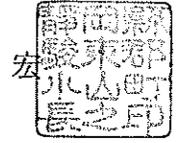




小建管第189号  
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

小山町長 高橋



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃から道路行政をはじめ町政につきまして、ご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付け国道企第37号による依頼につきましては、別紙のとおり回答させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

道路は、地域の生活や経済活動を支える最も重要なものです。

小山町が位置する富士山麓地域は、東名高速道路で都心まで90分という利便性により多くの企業が立地しています。

また、富士箱根伊豆国立公園の観光地であるため、東名高速道路、国道246号・138号をはじめ県道・町道は車や人の往来に重要な役割を果たしています。さらに、この地域は東海大地震や神奈川県西部地震の発生が危惧されており、大雨などの災害時に通行止となる東名高速道路や、国道246号に替わる町内の県道・町道の整備も十分であるとは言えない状況にあります。

災害時の火災や急病人等の緊急車両の通行の円滑化を図るためには、避難アクセス道路の整備が必要であります。

小山町をはじめとする地方には地域の活性化や安全で安心できる暮らしの実現を図るため、道路整備は必要不可欠であり、緊急に実施しなければならない状況にあります。

そして、道路こそまちづくり、国づくりの基本であることを改めて認識していますので、今後も道路整備が滞ることなく着実に進むよう要望いたします。

<p>○現状</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 新東名高速道路の事業促進</li><li>② 国道246号の小山町内暫定2車線区間4.4kmの4車線化の事業促進</li><li>③ 国道138号御殿場バイパスの4車線化の事業化</li><li>④ 国道246号中島ICと県道山中湖小山線の接続事業促進</li><li>⑤ 町道足柄三保線の第2期工事(谷戸地区)の事業化</li><li>⑥ 国道469号の国道246号中島ICへの延伸事業化</li></ul>	<p>○課題</p> <p>国道246号及び138号は、富士山麓に立地している企業の首都圏へのアクセスや富士箱根伊豆国立公園の観光アクセスとして重要な役割を果たしています。しかしながら、小山町内では新東名高速道路や国道246号の残り4.4km区間及び国道138号御殿場バイパスの建設が未着手であります。また、国道246号中島IC周辺の整備と、接続する県道山中湖小山線の事業促進や国道469号の延伸事業化も必要であります。現在、国庫補助事業として実施しております町道足柄三保線改良舗装工事についても、市街化区域の基幹道路整備として第2期工事(谷戸地区)の事業採択が必要であります。</p> <p>以上の道路整備を緊急に進めていただくことにより、渋滞が解消されるとともに地域の活性化及び災害時への対応を図ることが期待されます。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

②-2 地域の目指すべき将来像

F1ビレッジ整備計画の実現

本計画は小山町にある富士スピードウェイの西南にある東西長手:約750m、南北短手:約150mの敷地約9.0haにおいて、大規模観光交流拠点としてのモータースポーツエリア(モータースポーツ関連の工場立地やオーナーガレージの設置、さらには観光交流拠点としてのホテルやレストラン、地元産品の売店施設の設置etc)を形成しようとするものです。

付近は富士山の南東の裾野に広がる森林地帯の景観が展開し、北東方向には霊峰富士の雄姿が見える。富士霊園もごく近く、ゴルフ場も多数あり、雄大な自然環境の中にあります。さらに特筆すべきは、なんとと言ってもF1日本グランプリが開かれ、日本を代表するレーシングコースである富士スピードウェイのエントランスのほぼ真正面に位置しているところです。

ここには現在でも町道上野大御神線沿いにたくさんの倉庫状の建物が散在していますが、そのほとんどはカーマニアが自ら愛車を収蔵する倉庫であります。一般車の規格を越えるスポーツカーやクラシックカーなどは、公道を走行することができない。したがって、トレーラーに積んで来るなどしなければ富士スピードウェイで走行することができないため、ここにガレージを持つことが、カーマニアの中で憧れなのだと言われています。実際にはこの場所にスポーツカーの改造やチューンナップを行う工場の立地、モータースポーツ活動をしたいという申し出が多数寄せられています。この計画が単にスポーツカー愛好家のためだけの閉鎖的な施設にとどまることなく、これが富士山エリアの観光の目玉の一つになるようなものにしたい。別な言い方言えば、ここでしか経験できないモータースポーツの世界を一般の人々にも体験できるようなものを計画したいと考えています。

この計画の実現に向け、国道469号の国道246号中島ICへの延伸事業化や、同様に県道山中湖小山線の中島ICへの接続の事業促進をお願いいたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

静岡県小山町

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	F1ビレッジ整備 ①国道469号の国道246号中島ICへの延伸 事業化 ②国道246号中島ICと県道山中湖小山線の接 続事業促進	富士山エリアの観光地として、スポーツカー愛 好家をはじめ多くの人を訪れ、ここでしか体験で きないモータースポーツの世界を楽しむことによ り、交流人口の拡大及び地域経済の向上を図る ことができる。	